

# 基本クラス修了認定基準

1. **雪崩リスクの概念を理解し、リスクマネジメントの基本を実施できる。**
  - 雪崩リスクの概念を理解し、雪崩ハザード、曝露＝行動、脆弱性の観点からリスクをおおまかに推測できる。
  - 斜面の特徴（斜度、大きさ、地形、樹木等）、積雪不安定性から、雪崩ハザードをおおまかに評価できる。
  - 雪崩リスクを低減する行動様式の基本を実施できる（ルート選択の基本、地形の罨、危険地帯の通過）
  - 脆弱性を低減する装備を理解し装着することを習慣化できる。
  
2. **積雪不安定性評価の基本を正しく実施、評価できる。**
  - CT（シャベルコンプレッションテスト）を正しく実施でき、回数による評価、破断の特徴を正しいデータコードで記録できる。
  
3. **基本的な積雪観察（ピットチェック）が実施でき、雪質について簡単な評価ができる。**
  - 積雪観察のためのピットを正しく作成することができる。
  - 指導者の助言のもと層を決定できる
  - ハンドハードネステストにより積雪の硬度を評価できる。
  - ルーペで雪の結晶を観察し、雪質と粒径を評価、記録できる。
  - 積雪断面観察およびCTの結果から弱層を推測できる。
  
4. **基本的なコンパニオンレスキューが実施できる。**
  - 雪崩トランシーバーの基本原理を理解し、正しく装着、チェックできる。
  - コンパニオンレスキューのサーチにおける4段階（シグナルサーチ、コースサーチ、ファイナリサーチ、ピンポインティング）における、基本を正しく実施できる。
  - ファインサーチクロスを正しくできる。
  - スパイラルプロービングを正しくできる。
  - エアポートアプローチの概念を理解でき、実施できる。
  - スノーコンベアベルトシャベリングの方法を理解し、メンバーとして実施できる。
  - 80 cmに埋没した雪崩トランシーバーを5分以内にピンポインティングできる。
  - 雪崩事故における一次救命処置の基本を理解し、SABCDEについて説明できる。
  
5. **積雪に関する気象情報を抽出し、積雪への影響を説明できる。**
  - 積雪に関する気象要素である降雪、気温、日射、風の4つを挙げ、積雪への影響を説明できる。
  - 気象データから、積雪に重要な影響を与える要素を抽出でき、影響を説明できる。